

本書は、本製品に関する重要な注意事項が記載されています。作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。また、他人に譲渡される際は本書を必ず製品とともにお渡しください。

HID Fog Lamp Bulb Kit

HID フォグランプバルブキット No. MSY0191A

取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation
株式会社オートエクゼ
〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ HIDフォグランプバルブキット をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

本製品は高電圧を発生する部品が含まれております。製品の取付けは必ず販売店、または自動車修理工場で行ってください。

適合車種

マツダ RX-8 MC後(車台番号 SE3P-300001~) 純正フォグランプ装着車 [バルブタイプ:HB4]

⚠️ ご注意 (販売店の方へ)

本製品は高電圧を発生する機器との正しい取付けが必要です。誤った取付けは、感電などの思わぬ怪我につながる恐れがありますので、製品の取付けおよび交換作業は、必ず自動車の電子システム整備を行える整備工場や自動車電装部品専門店で行ってください。なお、誤った取付けをされた場合は、製品保証の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

⚠️ ご注意 (取付店および作業の方へ)

- *HIDバーナーやバラスト/イグナイタユニットを落とすなどして破損が認められる場合は、直ちに作業を中止し、装置を使用しないでください。
- *HIDバーナーやバラスト/イグナイタユニット、ハーネスに破損があると、感電により火傷または重大な事故を引き起こす場合があります。
- *HIDバーナーやバラスト/イグナイタユニットは絶対に分解しないでください。感電により火傷または重大な事故を引き起こす場合があります。
- *濡れた手やオイルが付着した手で、機器の取付けや検査をしないでください。感電により火傷または重大な事故を引き起こす場合があります。
- *点灯時は裸眼でランプを直視しないでください。目の痛みや視覚障害の原因となる場合があります。
- *HIDバーナーは落下させたり、表面が傷つくような無理な力はかけないでください。システムに重大な損害をもたらす危険があります。また、機器の寿命を縮め性能が悪化する場合があります。
- *各コネクタは確実に接続してください。コネクタが完全に接続されていないと、接触不良により火花が発生し、発火・発煙の原因となります。
- *コネクタまたはハーネスを引っ張り、機器を移動させないでください。機器トラブルの可能性となる場合があります。
- *ランプ点灯時および消灯直後のHIDバーナーは大変高温となっておりますので、絶対に触れないでください。また、火災防止のため、取付け作業時を除き、ライトユニットの外側でHIDバーナーを点灯しないでください。
- *ハーネスや高電圧コネクタ部分において作業場生じたトラブル、または本システム以外の機器を取付けた結果発生したトラブルに関しましては、いかなる場合においても、弊社では責任を負いかねますので予めご了承ください。
- *確実な作業をするため、取付場所は広くて平坦な場所で行ってください。
- *油脂類、アルコール類はHIDバーナーの熱で引火しないように、離れた場所においてください。

上記取扱い注意事項と下記取付注意事項、また取付要領を十分理解した上で正しく取付けを行ってください。

| | | |
|---|--|---|
|  <p>バッテリーのマイナス端子を取外す前に、ラジオなど電装品のメモリーを控えておいてください。</p> |  <p>ショートを防止するため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外してください。</p> |  <p>取付作業中にハーネスを引っ掛けたり、はさみ込まないように注意してください。</p> |
|  <p>ハーネスを強く引っ張らないでください。ハーネス内部のワイヤーが切断し接触不良となります。</p> |  <p>カブラーの脱着は、リード線を引張らず、カブラー本体を持ち、ロックを解除して行ってください。</p> |  <p>カブラー・ギボシ端子を接続する際は、ロックするまで根元まで確実にはめ込んでください。</p> |
|  <p>ハーネスの配策は、運転の妨げにならないように、タイラップなどで確実に固定してください。</p> |  <p>車両部品の取外し、復元作業は、マツダ(株)発行の整備書を参照し作業を行ってください。</p> |  <p>すべての部品の取付けが終わった段階で、車両復元前に必ず作動チェックを行ってください。</p> |

ご注意（使用者の方へ）

1. HID点灯中はHIDバーナー、バラストおよびハーネスなどに触れないでください。
 1. HID点灯中は、20,000ボルトの高電圧が流れています。発熱、感電による火傷あるいは致命的な事故を起こす危険がありますので、点灯中のHIDバーナーやバラスト、ハーネスには絶対に触れないでください。
 2. HID点灯中、もしくは消灯直後はヘッドライト本体が非常に高温になっている場合があります。火傷の危険がありますので、直接ヘッドライト本体には触れないでください。
2. HIDシステムを頻繁に点けたり、消したりしないでください。

HIDシステムを頻繁に点灯／消灯を繰り返すと、HIDバーナーの寿命を縮める原因となります。また、システムが作動不良となりダメージを与える恐れがありますので、点灯／消灯を頻繁に繰り返さないでください。

※短い時間でスイッチをON／OFFするとHIDバーナーが点灯しないことがあります。これは、バラストの安全回路が働いたためで、故障ではありません。しばらく待ってから、システムを再作動させてください。
3. 以下の場合は使用を中止してください。
 1. ご使用中にバラストやハーネスにダメージや故障が見受けられる場合は、使用を直ちに中止し購入店もしくは取付店にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電して火傷や重大な事故を引き起こす原因となります。
 2. ご使用中にHIDが自然消灯してしまった場合は、直ちに車両を安全な場所に移動し、ヘッドライトスイッチOFFにして数秒経過後再度スイッチをONにして、点灯するかを確認してください。もし、点灯しない場合は、使用を直ちに中止し購入店もしくは取付店にご相談ください。

高電圧部品の取扱いに関する重要注意事項

危険

- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、ハーネスのカブラーを外す場合は、電源をOFFにしバッテリーの＋端子を外してください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、取付け、点検作業は適切な絶縁用保護具を使用して行ってください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、電源スイッチがONのときにHIDバーナーおよびバラスト、ハーネスには触れないでください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、HIDバーナーやバラストは絶対に分解しないでください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、回路またはハーネスを絶対に変更しないでください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、テスターなどを使用しての点検や分解は絶対に行わないでください。
- * 感電による火傷や重大な事故を防止するため、HIDバーナーやバラスト、ハーネスに衝撃が加わった場合は、一時的に正常でも内部が損傷している恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

警告

- * 本製品に使用するHIDバーナーは、専用バーナーのみをご使用ください。
- * 点灯時または消灯直後はヘッドライト、HIDバーナー、カブラー、ハーネスが高温になるため、手で触れると火傷する恐れがあります。点検、脱着作業をする場合は、スイッチをOFFにし、各システムが冷えるまで待ってから作業を行ってください。
- * 車両火災の原因となりますので、紙や布など可燃物は絶対にライト付近には置かないでください。
- * 強い光により視覚障害を引き起こす恐れがありますので、点灯中は発光部を直視しないでください。
- * HIDバーナー内部には高圧ガスが封入されています。破裂による怪我を防止するため、絶対に落としたり、無理な力を加えないでください。
- * 寿命や損傷により交換したHIDバーナーは、怪我防止のため分解せずに専門の産業廃棄物処理業者に廃棄を依頼してください。

注意

- * エンジンが停止した状態で連続的にHIDを点灯させ続けると、バッテリー上がりの原因となりますのでご注意ください。
- * エンジン始動時および始動直後は、一時的に電圧が急上昇する場合があります。HIDバーナーが破損する恐れがあります。エンジン始動時および始動直後にはスイッチをONにしないでください。
- * スイッチON時にヒューズが飛んだ場合は、原因を確認し修理を行ってからヒューズを交換してください。

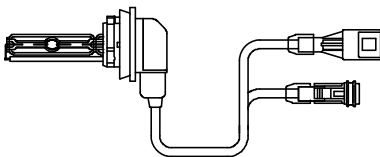
故障および異常かな？と思ったら、以下の事項をご確認ください。※以下の場合は異常ではありません。

1. 左右でバーナーの発光色が違う。
→HIDの特性上左右で色の差が出る場合があります。なお、極端に発光色が異なる場合は販売店にご相談ください。
2. 点灯直後に発光色が変化する。
→HIDの特性上点灯直後には発光色が変化します。発光色が安定するには60秒程度の時間を要します。
3. バーナーの点灯、消灯を繰り返すと点灯しなくなる。
→HIDの点灯、消灯を短時間に繰り返すと安全回路が働きHIDが点灯しなくなる場合があります。この場合は、フォグランプスイッチを一旦OFFにし、数秒経過すると安全回路が復帰しますので、再度点灯させてください。
4. 消灯時にフォグランプのレンズ内側に“くもり”が発生する。
→HIDは消費電力がハロゲンバルブに比べて少ないため、発生する熱量も少なくなります。以上のことから、ご使用条件によってはフォグランプ内部にある空気中の水分が結露し、レンズ内側がくもることがあります。
5. オーディオ、カーナビゲーションにノイズが発生する。またはコーナーセンサーが誤作動する。
→HIDの特性上上記の事象が発生するケースがございます。その場合は、システムの設置場所変更やシーリング等ノイズ対策を施してください。

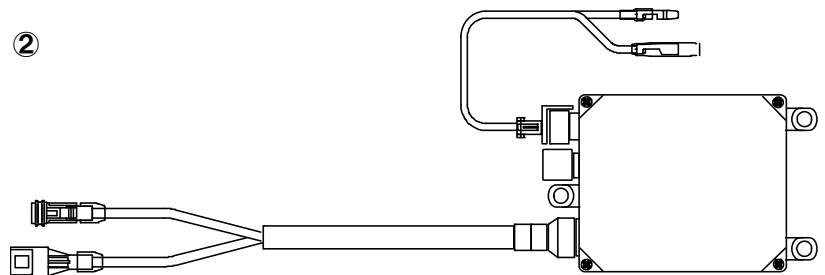
構成部品

| No. | 品名 | 仕様 | 数量 |
|-----|----------|-------------------|----|
| ① | HIDバーナー | HB4 5500K | 2 |
| ② | バラストユニット | イグナイター内蔵 | 2 |
| ③ | メインハーネス | 電源用 リレー・ヒューズボックス付 | 1 |
| ④ | サブハーネスA | メインハーネス～バラスト接続用 | 2 |
| ⑤ | サブハーネスB | 信号検出用 | 1 |
| ⑥ | 両面テープ | 60×50×2.0(mm) | 4 |
| ⑦ | エレクトロタップ | サブハーネスB結線用 | 2 |
| ⑧ | タイラップM | | 8 |
| ⑨ | タイラップS | | 4 |

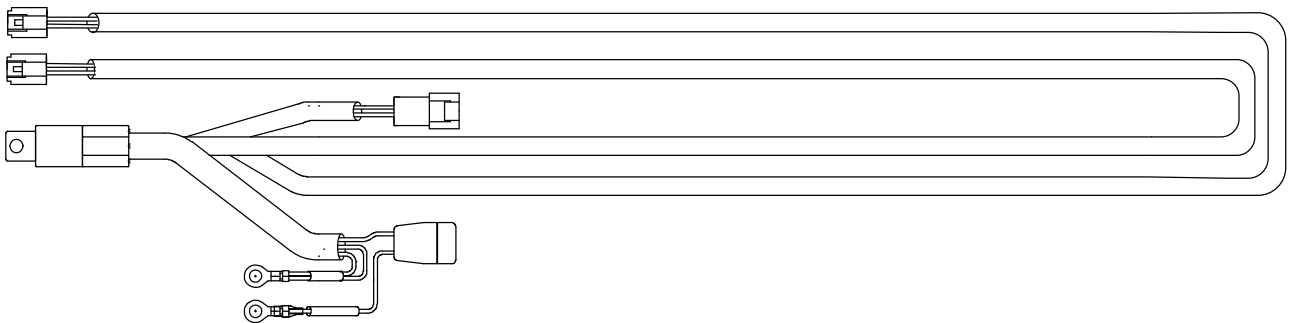
①



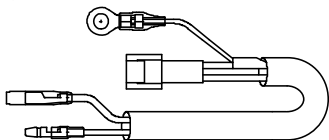
②



③



④



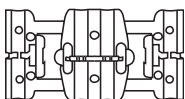
⑤



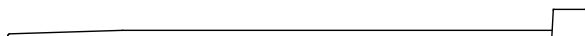
⑥



⑦



⑧



⑨



取付要領

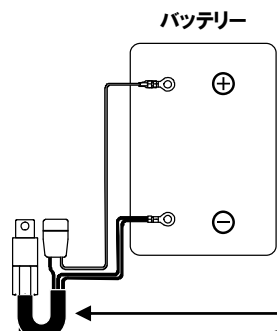
1～8の手順で装着作業を行ってください。

1. バッテリーのターミナルを、マイナス(-) → プラス(+) の順に取外します。
2. 整備書を参考にフロントバンパーを取外し、純正フォグランプのハロゲンバルブを①HIDバーナーに交換してください。
※HIDバーナーとフォグランプユニットの適合はハロゲンバルブに比べて若干緩いですが問題ございません。

9. プラス・マイナス端子取付け
電源端子をプラス→マイナスの順に接続します。



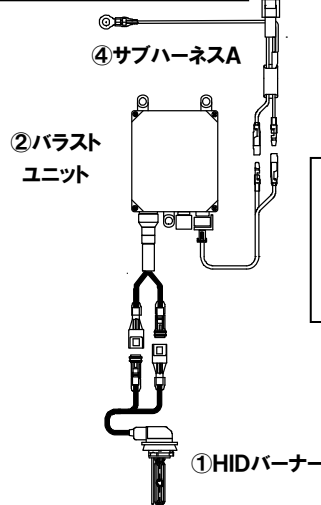
8. リレー&ヒューズボックス取付
⑨タイラップSを使用してリレーとヒューズボックスを一体化させた後、PCM手前にある純正ハーネスと共締めして固定します。



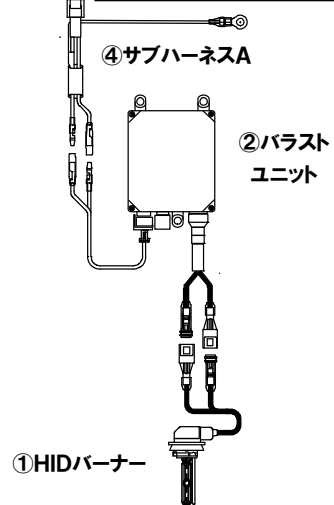
6. アース端子の接続
上図ホーン横純正アースポイントに接続します。

5. メインハーネスの取廻し
③メインハーネスをラジエーターコアサポートや純正ハーネスに沿わせながら、各ユニットまで配線します。

7. アース端子の接続
上図ホーン横純正アースポイントに接続します。



4. 信号検出用ハーネスの接続
⑤サブハーネスBを純正フォグランプのハーネスに⑦エレクトロタップを使用して接続します。
※赤色線 → 純正ハーネス+側
黒色線 → 純正ハーネス-側



3. バラストユニットの取付
図を参考に純正マッドガードの指定位置に⑥両面テープを使用して②バラストユニットを取付けします。



10. バッテリーのターミナルを、プラス(+) → マイナス(-) の順に取付けます。
11. フロントバンパーに取付けした①HIDバーナーのカプラーを②バラストユニットと仮接続し、HIDが正常に点灯することを確認します。
12. フロントバンパーを車両に復元して作業完了です。